

講座報告

知っておきたい！

わが家の金銭教育

～子どもの金銭感覚の育て方講座～

日 時:令和 2 年12月2日(水)10:00～12:00

場 所:仁保地域交流センター

講 師:山口県金融広報アドバイザー 中村 久枝 氏

受講生:大人17人



<講 座 内 容>

子どもたちにお金の大切さを伝えるために必要なことは何か、各テーマごとに受講者自らが考え、グループで意見交換を行いながら学びました。後半「カレー作りゲーム」を行いました。



私はファイナンシャルプランナーの資格を50歳で取得しました。
やりたいことを始めるのに年齢は関係ありません。

お金の仕組みにおいて、若い時から知っておくことはとても大事。
将来を考えて今行動することも大事です。親がしっかり学んで子どもに伝えて欲しいです。

☆次の各テーマごとに、それぞれワークシートに意見を書き込んだ後、グループで意見交換しました。

どういうことが金銭教育だと思う？

お金の教育とは・・・

金銭教育

お金とは何か
お小遣いの使い方

金融教育

資産運用の仕方
経済の仕組み

消費者教育

お金を使う

キャリア教育

労働によりお金を
得る



金銭教育・金融教育とは・・・

金銭教育は、ものやお金を大切にすることを通じて、お金や労働の価値を知り、感謝と自立の心を育てることによって、人間形成の土台作りを目指す教育である。金融教育はそうした金銭教育の伝統を十分継承しながら、実践的な消費者教育やキャリア教育、さらにはマクロ的な金融・経済の把握といった要素を取り組みながら組み立てられている。その意味では金融教育は金銭教育を抱合し、より幅広い内容に発展させたものと位置づけることができる。



お金について学ぶこと = 生きるための教育

家庭で子どもに教えることは・・・

1. お金とは何か
2. おこづかいの与えかた、使い方
3. お金を使うべきシーンとはどういうとき



グループワーク

親から受けた金銭教育だと思えることで・・・良かったこと
親から受けた金銭教育だと思えることで・・・良くなかったこと

- 良かったこと…家庭のルールがあったこと

子どもの金銭感覚はなぜ必要だと思う？

- 自立のため
- 生活設計
- 将来困らないため



必要な金銭感覚、自分と比較してどう？

グループでのトークセッションのなかで、必要なことがみえてきました。

- 年齢に沿った、将来必要となるお金のシミュレーション、生活設計を行いましょう。
- 親が実行する姿を子どもに見せることが、お金教育（金銭感覚）の第一歩につながります。

では・・・お金ってなんでしょう。どうやって教えますか？

1. お金とは何か

こんな時、どうする？！

3歳の子どもがレジを通るときに、「お金！」と言ってきます。

- A. まだわからないからと、相手にしない？
- B. 金の使い方を教える？



ポイント

・・・3歳の子どもにお金の管理は難しいでしょう。しかし「お金の意味」を教えることはできます。

- 子どもの年齢には関係なく、興味をもったときがそのタイミング！お金に限らず、それはビッグチャンスととらえて！
- モノを買うときにはお金が必要である、という感覚を植え付けるために経験させよう。
- 何度もくりかえし体験させよう。
- 親が自分の物差しできめるのではなく、見方を変えてみよう。



2. おこづかいの与え方、使い方

ツールは「おこづかい帳」これをどう使う？

- A. 全てを細かく記載する
- B. 使いやすいように工夫する



おこづかい帳をつけることも大事ですが、それは「お金の管理」がきちんとできているかどうか、検証するツールにすぎません。大切なことは「お金の管理」について教育することです。

ポイント

- いかに見やすく、使いやすく、自分のお金を管理できるかを教えてあげましょう。
- 工夫の仕方は、自分が「親から教えられて良かったと思った経験」をもとに、各々の家庭で考えていきましょう。
- また、将来をみすえて目標設定をすることが貯蓄につながります。

※家計管理では、「通帳記帳を利用する」、「週ごとにつかう金額を決め、封筒に分ける」などもおすすめです。



重要!

ルール作りのポイント

- 親子で話し合って決めること。
- 決めたことを親子で守ること。
- 結果を報告させること。



3. お金を使うべきシーン

ニーズとウォンツ について



本当に必要ではないけれど欲しい、というものはたくさんあるのではないのでしょうか。欲しいままにお金を使ってしまうことで、お金の不足（借金）にもつながってしまうかもしれません。

ニーズ 必要なもの・・・「おなかが空いた」
ウォンツ 欲しいもの・・・「ステーキが食べたい」

ポイント

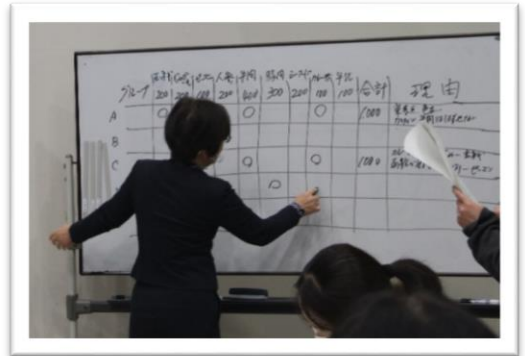
- 子どもの話に耳を傾け、そのニーズについてしっかり聞いてあげること。
- 本当に必要なものかどうか、しっかりと見きわめる。
- 欲しいものであっても、優先順位をつけていく
⇒管理（時期、方法など）



カレーづくりゲーム

活動紹介

カレーづくりの条件（ビーフカレーの好きな両親のために作る）が決められています。その条件を達成するための買い物計画を立てます。グループごとに話し合いをし、まとめ、代表者がグループの意見を発表しました。



条件にはビーフカレーの好きな両親のために作るがありますが、予算では条件達成はお金が不足して出来ません。

ポイント

- ビーフカレーを作らなければいけないという条件にしばられていませんか。
- 必ずしもビーフカレーを作ることだけが目的達成ではありません。両親が喜ぶことは何でしょうか。
- 出された答えはすべて正解です。誰かと同じでないといけいないという価値観をくずしましょう。

まとめ

- ☆ニーズ（必要）とウォンツ（欲しい）をその都度考える。
- ☆目標（目的）を定め、自分の考え方で実行していく習慣を身につける。（誰かと一緒になくていい）
- ☆親の考え方ではなく、子どもの考え方を尊重する。
⇒話をよく聴く、認める（否定しない、信頼する）

☆お金の使い方によって、使えるお金の量、お金に対する価値観が変わっていく

☆長い人生の間には、小さな差が積み上がり、大きな差となっていく

これを教えるのが金銭教育であり、親である皆さんの役割です！！

中村先生の体験談

《わが家の金銭教育》



わが家の子育ては、3世代同居での暮らしの中でした。おじいちゃんをよくおやつなどを買って与える中村家の「おやつ担当」でした。母親である自分は、子どもが買い物についてきても、基本的におやつは買いません。それでも年に数回、「今日は買っていいよ、〇〇円以内」と言うと、子どもたちはチャンスとばかりにスーパーの中をくまなく見てまわり、慎重に欲しいものを予算内で選ぶということをしていました。

子どもたちが成長し、一人暮らし、社会人になり自分で管理しなくてはいけなくなった時、この時の経験は生かされているなと感じます。兄妹、それぞれにお金の管理方法は異なりますが、自分で考え実行するようになっていました。

お金の使い方、与え方についての「中村家のルール」を決め、それを守ったということの成果ではないでしょうか。良いか悪いかではなく、「わが家のルール」を作ることだと思います。

質問コーナー



子どもがキャッシュレス決済で買い物をしたいといった場合、どこまでを子どもにまかせたらよいだろうか。

答え

パスワードの扱いには注意すること。最後の決済の部分は親がきちんとチェックすること。通帳残高額を決めておいてそれ以上使うことのないように設定しておくともよいだろう。しかし、残高不足で支払いのお金が足りないということも、経験させておいて無駄ではないだろう。



講座の様子から

2時間の講座の間、随時グループワークを行いながら講義をしていただきました。各グループにおいては皆さん活発な意見交換の様子がみられました。お金の話ですが、笑いが混じる、なごやかな雰囲気がありました。

※新型コロナウイルス感染症対策として、受付にて検温、体調の確認、手指消毒の奨励、座席指定、講座途中窓の開放による換気を行いました。



アンケートより ご意見・感想を一部ご紹介



- ★分かりやすい資料と、具体的な例を挙げていただいて、本当に面白く、ためになるお話ばかりでした。子どもには言うのに、自分自身ができてない面もあります。子どもと一緒に、お金のことを話し、使い方、将来に向けての貯め方について考えていけたらと思います。ありがとうございました。
- ★今日は色々考えさせられました。親がやらない（知らない）と、子どもに教えられない！という言葉に一番ドキッとしました。まず親の私がたくさん勉強し考え、たくさん試しながら頑張ってみようと思いました。
- ★子どもにお小遣いを渡しているが、自分のものさしで「このカードは要らない」など子どもの意見を却下していたので、ニーズ、ウォンツ、優先順位、そして子どもの話をよく聴く、認めることが大切なことがよく分かりました。参加できてよかったです。
- ★「金銭教育」でお金との関わり方を学ぶと共に、子育てのみちしるべを学べた気がします。これからの子育ての中で、「子どもの話をよく聴く、認める、信頼する」を意識したいと思います。
- ★実際に「カレー作り（ゲーム）」を通して、自分がどのように使うか、どういう使い方をするかをよく考えることの大切さを学びました。
- ★お金の教育は自分たちも親世代から受けてきておらず、また学校等で学ぶ機会もないため、いまいち身につけてる実感がなく子どもたちにどう教えていったら良いか悩み、今回参加させていただきました。子どもたちの教育にとっても必要なこと、まず親がしっかりと姿勢をみせていきたいと思いました。
- ★金銭教育は家庭から始まり、そこが教育の場だと痛感しました。日々、子どもと話をし、一緒に学びたいと思いました。
- ★他の参加者の人の意見も聞けて、とても参考になりました。先生から教わったことを家庭で子どもに教えたいと思います。
- ★経験させないと、金銭感覚は身につかないとのことで、おこづかいをあげてみようと思いました。子どもを信頼してみようと思える講座で、自分の考えが変わりました。

